

くぬぎ山地区自然再生事業実施計画書

目 次 (案)

第1章 自然再生事業の対象となる区域及びその内容

- 1-1 くぬぎ山地区自然再生全体構想の概要
- 1-2 くぬぎ山地区自然再生事業の対象となる区域

第2章 くぬぎ山地区自然再生事業実施計画

2-1 くぬぎ山地区保全計画

- 2-1-1 緑地保全制度の導入
- 2-1-2 土地所有者が平地林を維持していくしくみの構築
- 2-1-3 トラスト等による平地林の保全

2-2 くぬぎ山地区再生計画

- 2-2-1 改変地における植生復元
- 2-2-2 施設移転跡地における自然再生

2-3 くぬぎ山地区維持管理計画

- 2-3-1 平地林管理計画の策定、平地林管理の新たにくみの構築
- 2-3-2 農とのつながりの再生
- 2-3-3 ゴミなどの不法投棄への対処

2-4 くぬぎ山地区活用計画

- 2-4-1 環境学習の場としての活用方式の検討
- 2-4-2 レクリエーション利用の方策に関する検討
- 2-4-3 森林資源の有効活用

第3章 くぬぎ山地区自然再生事業区域の周辺地域の自然環境との関係 並びに自然環境の保全の意義及び効果

第4章 くぬぎ山地区自然再生事業実施計画の役割分担と実施体制

くぬぎ山地区 平地林管理計画の策定と平地林管理の新たにしきみの構築

全体フレーム・フロー

A. くぬぎ山地区 植生管理計画の策定

1. 植生管理ゾーニングの設定

(1) 現況植生の解析・評価

- ・現況維持植生の特定

- ・二次林の放置共生種(遷移共生種)の分布状況

- ・偏向遷移林分の分布状況

(2) 目標植生の設定

①代表的二次林タイプ

- ・コナラーケヌギ林

②極相林タイプ

- ・アカマツ林

③萱原タイプ

- ・シラカシ林

④萱原タイプ



3. 管理実施可能区域の優先度評価

B. 管理作業ボランティアの公募と実施者の決定

4. 管理可能区域における作業実施者の公募

県、市町が受付窓口になることを想定

5. 管理可能区域ごとの作業実施者の決定

既存NPOおよび有志による管理チーム等を想定

C. 対象区域ごとの管理実施計画の作成と管理作業の実施

6. 実施者による管理実施計画の作成

(1) 対象区域の事前環境調査

(2) 管理目標の設定と管理作業

(3) 作業の工程と実施体制

(4) モニタリング計画

7. 自然再生協議会での検討

自然再生協議会等で意見交換

8. 管理作業とモニタリングの実施・継続

実践の経過・結果のとりまとめ

2. 地権者の林地等管理意向

(1) 現況植生の特定

- ・現況維持植生の特定

- ・二次林の放置共生種(遷移共生種)の分布状況

- ・偏向遷移林分の分布状況

(2) 目標植生の設定

①代表的二次林タイプ

- ・コナラーケヌギ林

②極相林タイプ

- ・アカマツ林

③萱原タイプ

- ・シラカシ林



3. 管理実施可能区域の優先度評価

B. 管理作業ボランティアの公募と実施者の決定

4. 管理可能区域における作業実施者の公募

県、市町が受付窓口になることを想定

5. 管理可能区域ごとの作業実施者の決定

既存NPOおよび有志による管理チーム等を想定

地権者意向調査

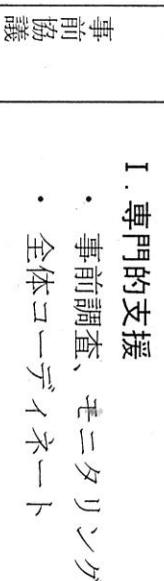
林地管理可能度

- A. 管理内容も含め管理に同意

- B. 条件付きで管理に同意

- C. 管理に同意しない

管理可能区域優先度図



■支援制度の検討・創設

I. 専門的支援

- ・事前調査、モニタリング

- ・全体コーディネート

II. 実践支援

- ・労力費

- ・管理作業機材

報告

くぬぎ山地区における植生管理の区分 概念図(案)

